

地域密着、身近な話題を体験取材!

まちかど

特派員だより

コロナ禍でお年寄りや子どもたちを元気にさせている女性のサロン活動

富士見一丁目のボランティアグループ「サロン青空」では、女性8人、男性3人のメンバーが、12年間毎月1回富士見一丁目公民館で、一人暮らしの高齢者など約50人の皆さんに「ランチを楽しむ会」を開催してきました。しかし、こ

元気を取り戻せる大きな力にもなっていた「昼食の時以外はなかなか外に出られず楽しめる機会がない。一日でも早く再開してほしい」という返事の手紙がたくさん寄せられました。

「いつもなんとか頑張っている」「おいしい食事を食べながらのおしゃべり会は手紙を出しました。すると、

そんなお年寄りの手紙を読んだボランティアメンバーたちは、みんながまた会い、顔を合わせても密にならない「ちょこっと会えて、ちょこっとおしゃべり」ができる場として、家並みの間の道路や駐車場、家の軒先を利用した「まちばたコミュニケーション」を計画しました。

「10月31日のみちばたコミュニケーション」実施の10月31日はぶ

「みちばたコミュニケーション」実施の10月31日はぶ



10月31日のみちばたコミュニケーション

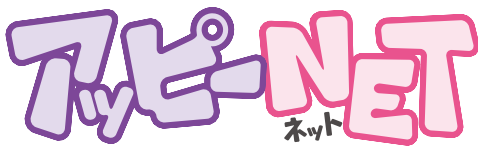
上尾地区
大成 達夫さん



らぶらと道端を散歩する絶好の晴天の日になりました。富士見一丁目公民館から300メートルの家の軒先やその間にある駐車を借りて、外にイすを並べた出合いの場でおしゃべりをしてもらい、お年寄りにはシクラメンを、子どもたちにはパンジーの花とお菓子をプレゼント。温かい日差しを浴びながら久しぶりのおしゃべりを楽しんでいるお年寄りやハロウィン姿ではしゃいでいる子どもたちの光景を見た時、まだ公民館や公園など集まったり遊んだりする場が少なかったころ、大人の社交場は井戸端会議、そして子どもは道端でケンケンやゴム跳びで遊んでいた昔のふれあいの光景を思い出しました。

コロナ禍の中で考え出した、このような外でのコミュニケーションの方法は、新しい日常のふれあいがくくりの一つのきっかけになるかもしれないと思っただけの光景でした。

市民の情報交流スポット



アッピーNET掲載団体募集

アッピーNETは市民の皆さんの交流の場として、催しなどへの参加者募集[おいでください]と、各団体のサークル会員募集[いきいきサークル]を掲載しています。観客を増やしたい・会員数を増やしたい団体は気軽に申し込んでください。申し込み方法など、詳しくは市ホームページをご覧ください。



おいでください

●小説サークル あげお 12月6日(日)13:00~16:30、文化センター 定27人 費一般1,000円・学生無料 担当 山口 090-7249-3155 (20:00まで) **ひと言!** 小説の書き方の基本、自分史の書き方。

いきいきサークル

●なぎなた教室 こまくさクラブ 毎週(土)12:30~15:00、今泉小学校 費月額大人1,500円・子ども1,000円(保険代大人1,300円・子ども800円) 三木 0776-6727 (17:00まで) **ひと言!** なぎなたに興味がある人、体験してみたい人、大歓迎。

●あおいの会 (和裁) 毎月第1・3(木)9:30~12:00、大石公民館 費月額3,000円(入会金1,000円) 長澤 0781-4065 (20:00まで) **ひと言!** 教材は自由です。初心者の方も丁寧に教えて頂きます。

●マハロ・ウクレレクラブ 毎月3回(土)9:00~12:00、大石公民館 費月額2,000円 相川 0775-4449 (18:00以降) **ひと言!** 楽しくウクレレを弾こう。経験者・未経験者大歓迎です。

●じじ&ばばの復活 (児童と交流会) 毎月第2(金)13:00~15:00、文化センターなど 50歳以上 費月額300円(会場費) 羽田 090-3962-9284 **ひと言!** シニアの脳の活性、児童のストレス解消(遊びを通じて)。

●リンパ体操サークル 毎月第2・4(金)10:00~11:45、市民体育館 費月額1,000円(入会金1,000円)、体験500円 手川 0781-5971 (19:00まで) **ひと言!** 楽しい仲間とリンパ体操にご参加お待ちしております。

●太極拳こぶしの会 毎月第2・4(土)10:00~11:30、小泉会館 費月額1,500円(3カ月前納) 菅俣 090-4543-0835 **ひと言!** 現在の健康を維持する為に一緒に太極拳を習いませんか?

●ゲンキ会 毎週(火)9:30~12:00、スポーツ総合センター 費月額1,000円 佐藤 080-5675-2012 (9:00~18:00) **ひと言!** ゲームを楽しめるレベルの卓球サークルです。

定…定員 定…対象 費…費用 持…持ち物 当…当日、直接会場へ 申…申し込み



革靴の手入れをする鈴木さん

「もともとスニーカーや革靴が大好きだったんですね。だから気が付いたらこうなっていたという感じです」と話すのは、JR上尾駅東口から徒歩4分の場所、革靴店「Salem Shoe Store」を経営する鈴木健一郎さんです。

鈴木さんは、アメリカの大学で映像を学んだ後、都内の映像会社に就職しました。英語が堪能だったため、海外のお客様さんとの折衝などを一手に引き受け、順調にキャリアを積み重ねていきましたが、海外営業が続いた時に多忙を極め、体調を崩してしまいました。「子どもと一緒に過ごす時間もなくて、このままでは俺の人生は何なんだろうな」という思いがよぎり退社を決意。半年ほど引き継ぎなどを終わらせ、円満に退社すると、鈴木さんはかねて考えていた靴業界に関わるべく、早速行動を開始します。1年間、靴製作の教室に通い、靴づくりの基礎を身に付け、令和元年5月に自分のお店をオープンしました。

靴を仕事にする際に、鈴木さんが自分の強みと考えたのは、靴を作れる人間の強みと考えるのは、靴を作れる人間

スポット ライト

～人・仲間～



すずき けんいちろう
鈴木健一郎さん
(本町在住)

チャレンジし続ける靴職人

本当に良い品質の革靴と正しい靴選びの情報を提供

「40歳を過ぎてからこの世界に入ったので、職人としての道を究めることはあえて目指しません。人とのコミュニケーションが好きなので、店頭でお客様の悩みを聞き、適切なアドバイスをを行い、靴にまつわるさまざまな情報をインターネットなどでも発信して、皆さんに正しい靴の知識を身に付けてもらう、そんなスタイルを目指そうと考えています。」

実は鈴木さんは、今でも映像の仕事も続けているとのこと。「チャレンジし続ける会社は、コロナの時代でも残っていますよ。発信力さえあれば、商売は何かやっていると違って思っています。上尾にも、まだまだ色々な可能性がある」と語る鈴木さんの言動には、人生100年時代のセカンドキャリア形成や混沌とするコロナの時代を生き抜くヒントが詰まっています。

が正しい靴選びの情報を提供することで、お客様の満足度と納得感を高めることができるという点でした。「ブランド品などお金をたくさん払えば、虚栄心を満たすことはできますが、サイズが合わない靴を無理に履いて足を痛め、健康を崩すようでは本末転倒です。ジャストフィットする本当に良い品質のものを、普通のサラリーマンが手に届く価格で提供しよう」と決めました。



「クイズ アッピーを探そう！」(2ページ参照)で寄せられた『広報あげお』への感想・意見を紹介します。今月は11月号です。

⇒ 広報広聴課 ☎775-4918・☎776-8873 ※内容は一部要約しています。



表紙 東京2020オリンピック 聖火リレートーチが上尾市に！

- オリンピックのロゴが入っているんですね。桜ゴールドという色がキレイでまじまじと見てしまいました。(30代・女性)
- 東京2020オリンピック聖火リレートーチもまもなく上尾市にやってくるんですね。とても楽しみです！(60代・女性)

10月31日、11月2日に市役所ピロティで展示をしました。上尾市の聖火リレーは令和3年7月8日(木)に実施される予定です。



シティ情報 雑がみの分別にご協力を

- 雑がみの分別記事を読み、普段捨てていたものに資源化可能なものが含まれていることを知り意識を改めようと思いました。(50代・女性)
- ごみの分別に気を付けたいと思いました。(80代・女性)

ごみの分別にご協力をお願いします。



『広報あげお』は、読者の皆さんの感想を参考にし、より良い誌面作りを目指しています。これからも皆さんの感想をお寄せください。